

第3回田川市都市計画マスタープラン策定委員会

— 議 事 要 旨 —

■日時：平成22年3月26日（金）
13：30～15：30

■場所：田川市役所大会議室

【会議次第】

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 報告事項
(1) 第2回策定委員会での意見とその対応について
- 4 協議事項
(1) 都市づくりの目標等について
(2) 全体構想について（素案）
(3) その他
- 5 閉会

【委員出席者】

- ・依田浩敏（近畿大学産業理工学部教授）
- ・文屋俊子（公立大学法人福岡県立大学人間社会学部教授）
- ・小川博之（福岡県建築都市部都市計画課長）代理：森田委員
- ・宮崎良哉（福岡県田川県土整備事務所長）代理：平川委員
- ・堀江昭美（たがわ21女性会議代表）
- ・伊藤龍文（田川市農業委員会会長）
- ・佐渡文夫（田川商工会議所会頭）
- ・嶋津亮彦（田川青年会議所直前理事長）
- ・吉武精稔（田川市区長会常務理事）
- ・國松茂雄（田川市社会福祉協議会副会長）
- ・竹野九州男（田川市議会議員）
- ・佐藤俊一（田川市議会議員）
- ・今村秀治（公募市民）
- ・尾崎行人（公募市民）
- ・池田智子（FIT）
- ・野村万紀（田川市環境審議会委員）

【委員欠席者】

- ・二場公人（田川市議会議員）

【議事概要】

1 開会

■事務局

ただ今より、第3回田川市都市計画マスタープラン策定委員会を開催する。

本日は、委員 16 名の出席を頂いており、会議は成立している。前回第2回の委員会では、都市の現況と課題を整理して、それらを踏まえた中で都市づくりの目標や理念、都市構造についてご提案させていただき、議論をいただいた。本日は、第2回策定委員会の中で皆様から指摘いただいた主なご意見とその対応について、まず報告をし、引き続き都市づくりの目標及び全体構想について、説明をした後、率直なご意見を伺いたいと思っている。

2 委員長あいさつ

■委員長

皆さん、こんにちは。前回の委員会では都市計画マスタープランの目標や理念、都市構造等について議論を行い、その中で都市計画マスタープランの位置づけや総合計画をはじめとする他の計画との関連性についてのご意見が出たところである。これらについては、事務局の方から事前に参考となる資料を送っていただいていると思う。本日はそれらを踏まえて会議に臨みたいと思うので、よろしく願います。

3 報告事項

(1) 第2回策定委員会での意見とその対応について

■委員長

(1) 第2回策定委員会での意見とその対応について、事務局に説明を求める。

(資料内容説明：事務局)

■委員長

ただいま事務局から説明があった第2回委員会意見に対する回答について意見を伺いたい。意見がないようなので、協議事項に移る。

4 協議事項

(1) 都市づくりの目標等について

(2) 全体構想について（素案）

■委員長

続いて、次第の4に入るが、(1) 都市づくりの目標及び(2) 全体構想について（素案）は関連があるので、通して事務局から説明を行ってもらい、その後に質疑応答を行うこととする。

(資料内容説明：事務局)

■委員長

ただいま事務局から、盛りだくさんの内容で説明があったが、全体構想について（素案）は、大きく土地利用の方針、土地施設整備の方針、都市環境形成の方針の3つから構成されており、いずれも課題を抽出し、それに対する基本的な考え方があり、この考え方に基づいてテーマ設定が行われている。基本的には、開発を抑制して、市街地内の居住環境を良くしていく方策になっているが、全体構想に関して皆さんの意見を伺いたい。

■副委員長

大規模集客施設の立地について今後規制が必要になってくると思われるが、田川市としてはどのように対応していくつもりか。

■事務局

用途地域の転換を図っていく上では、駅前商業地などへの大規模集客施設の立地誘導を図ることを前提としている。この考え方は、福岡県が定める立地ビジョンの考え方によるものだが、郊外部での商業施設の立地を抑制するための法規制を付加していくことが必要となっており、基本的な方向は土地利用方針において記述している。

■委員

8ページの①に“歴史・文化などを有する石炭記念公園、県立岩屋自然公園などは、観光・レクリエーション施設の適切な管理と活用により、個性を活かしながら公園の魅力を高めます。”とあるが、何か特定の施設を想定した記述なのか。

次に8ページの⑤に“まちを流れる中元寺川と彦山川は、まちづくりに密接な係わりをもつ河川であることから、水辺の保全を図りつつ、積極的に活用します”という表現があるが、河川の活用に関して、何か具体的な考えがあるのか。

また、公園管理の方針は、今後公共側が率先して管理を行うというようなニュアンスでの記述なのか。

■事務局

1つ目の質問については、具体的な施設の種別を特定しているものではないが、その公園の魅力や拠点性を高めるために必要な施設の整備・充実が必要であると考えている。

2つ目の水辺環境については、現在国が進めている後藤寺中学校裏の水辺の楽校で、親水公園の整備が進められているが、このような公園利用や河川沿いの歩道整備などを想定したものであり、水に親しめる方針を示した。

それと最後の公園管理に関しては、全国的にも周辺住民の方に公園管理を担っていただく流れになっている。

■委員

周辺住民やボランティア団体に参加いただいて維持管理に協力していただくことは良いが、最終的には市がきちんとした維持管理を行うべきだと考える。ボランティア等の清掃活動は行われているが、行政も一緒になってきちんと管理しなければならないと考える。周辺住民の方の公園だから、管理は任せますといったことではいけない。

親水整備は、中元寺川ではやっている。彦山川でも親水整備を前からお願いしているが、それが実現できていない。何とか整備できないかと考えている。

■事務局

彦山川に関しては、国の方からの働きかけがあって今年度、彦山川堤防の改修と都市環境整備に関する計画書が作成され、地域一体となったまちづくりが展開されていくこととなっている。親水整備については、中元寺川流域の方が先行して協議が進められてきた経緯があることや、ボランティア活動などが盛んであったため、中元寺川の親水公園が先に整備されることになった。

■委員

彦山川では洪水防止のためのパラペット堤が整備されているが、もっと河川に相応しいパラペットにならないのかということをも市に申し上げてきた。田川市は、もっと水辺の公園らしい整備を進め、河川を活かしたまちづくりを進めていかなければならないと考える。

整備方針の中に水辺の公園化を記載しているが、田川市として本当に親水公園の整備を進めていく気があるのか確認したい。

■事務局

河川を活かしていくことは、今後進めていかなければならないことだと認識している。地域別構想においては、少し具体的な記述ができるのではないかと考える。

■委員長

全体構想に関して、他に意見はないか。意見がないようなので、全体構想に関する内容は終了する。

本日は、事務局から都市計画マスタープランの位置づけ、全体構想（素案）の説明があり、そうした中で前回の策定委員会の中で事務局から、都市の将来像について、「ゆとりと潤いのある にぎわい都市たがわ」という提案があったが、今日これまでの説明を聞く限り、都市政策における目指すべき方向性として合致するものではないかと思っている。ご異論がなければ、前回提案のこの都市像を今回確定したいと思うがどうか。

意見がないようなので、将来像については了解いただいたものと判断する。
これで本日の全ての議題が終了したので事務局にお返りする。

(3) その他

■事務局

次回の策定委員会の日程については、後日書面で案内させていただく。
また、本日皆様からいただいたご意見は、次回までに整理をし、ご報告をしたい。

5	閉会
----------	----

■事務局

(閉会あいさつ)